

12月	モニターレポート	担当出張所	木津川出張所
担当区間	木津川下流両岸 京阪木津川橋梁～山城大橋 (1.6～13.5km)		
モニター実施日時	令和元年12月25日(水) 11時半～12時半過ぎ		
天候	晴		

(見出し)

今月は、流れ橋左岸⇄木津川大橋についてモニターしました。

河川の様子、河川敷の様子、堤防の様子、ゴミの不法投棄、などについて報告します。

(内容)

流れ橋をスタートに、下流に向かって高水敷側を歩き始めました。

護岸工事がされていました、流れ橋も工事中でした。



歩行者道路の文字が消えています。そもそも歩行者と分離されているのではありませんでした。



流れ橋から京都南道路？高架下までは、非常に道が狭いです。娘と歩いていましたが、後ろから来た自転車に危うく追突されかけました。歩行者との分離か、往路復路の分離、どちらか分かりやすくしてほしいです。

道路が隆起しています。（京都南道路高架下手前）



この日は、歩いている人が少なく、自転車が多かったです。

階段を、自転車を担いで登っておられました。車椅子の方もいるかもしれません、すべての階段において、バリアフリー化が必要ではないでしょうか。



京都南道路高架下を抜けたところにある看板です。朽ちています。



上津平樋門周辺です。高水敷両岸の、川のゴミがすごいです。



道路標識が薄くなっているものが、2箇所ありました。



木津川大橋手前で折り返し、流れ橋までの復路は、高水敷へ下りてみました。
護岸工事のごみかもしれません、全体的に汚いです。



萱、枯れ草がすごいのですが、自然のまま放置でしょうか。これを住処にしている野生動物もいるかもしれませんが、たぶんこの萱の下にゴミがたくさん引っかかってそうです。可能かどうか分かりませんが、焼いたりして、一度清掃がいるように思います。



時々、農道などへの分離道があるのですが、慣れていないと迷いそうです。



往復歩いて気づいたのですが、すべての看板に言えることですが、往路復路どちらの人にも見えるような設置をお願いしたいです。道と並行では、よほど大きくしないと気が付かず通り過ぎるし、夏は草で見えません。道路標識は表裏一体になっています。



今回のモニターで、自転車の利用が非常に多いことが再認識されました。趣味がサイクリングという方も多いのではないのでしょうか。わりとスピードも出しておられるし、道幅も狭いので、分離をはっきりさせることが必要かと思います。

(意見・感想・処置等)

沢山のレポートをありがとうございます。

昨年の台風19号で流された流れ橋（上津屋橋）は京都府が復旧に向けて工事を進めているところです。

数年前からロードバイクの方が増え、高速で走行する方もおり危険と感ずることがあります。実際には京都府が管理する歩行者や自転車等が通行出来る堤防天端道路になっていますが、自転車道との呼称から【自転車を通る道＝自転車メイン】と思われる方も多いのかもしれませんが。私自身も歩いている時や犬の散歩時に、後方からのロードバイクに気付かず、避けるのが遅かったせいか追い抜きざまに罵声を浴びせられたことが数回あります。過去には下流の河川敷で歩行者と衝突し死亡事故も発生していますので、自転車道を管理する京都府に、ご意見があったことを伝えておきます。また、自転車道の補修工事が予定されていますので、痛んでいる箇所は補修されると思います。

ご指摘いただいた距離標の看板が片側のみの表示になっている件は私どもも認識しており、工事等の際には両面に表示していく予定です。

お子様も写真に映られていて一緒にモニターに参加していただいているのですね。これからもまだまだ寒い日が続きますので防寒対策を充分にして頂きモニターをよろしく願いいたします。